

「MBCと共に」 WEBサイトのリニューアルをサポート

先進国を含め、各国のグローバル企業はコンテンツ産業を未来戦略産業として認識し始め、世界市場を先占するために政策的に支援と投資を拡大している。

このような認識・社会の変化により、放送各局もその形を変えつつある。また、既存では広告や情報の受信手段としての役割を、今は既存の役割はもちろん海外輸出も活発になると、文化コンテンツは放送社の収入を担う大事な資源となり大きく変容しようとしている。

このような状況から、コンテンツ管理とともにWebアクセシビリティの重要性が高くなり、現在、放送各局は内部に存在する様々な形式の文書、イメージ、動画、サウンドなどの膨大なコンテンツを戦略的に作成・保管・管理し、高品質のサービスを提供するための取り組みはもちろん、利用者中心のWebアクセシビリティおよびWeb標準を守ろうと努力している。

MBCのホームページを管理しているiMBCはコンテンツの体系的な管理と運用のために多国籍のCMS(Content Management System)製品の機能・性能、メンテナンス、使い勝手などで優位を占めるI-ON Communications(以下、I-ON)のICS(I-ON Content Server)を導入して以来ICSの使い歴10年以上経っている。

最近iMBCでは、ICS(I-ON Content Server)上にWebアクセシビリティと使い勝手の強化のための「MBCと共に」のWebサイト(withmbc.imbc.com)のリニューアルプロジェクトを進めた。これに関して「MBCと共に」Webサイトのリニューアル作業の担当者に簡単なブランド紹介やWebサイトの全面リニューアルプロジェクトを進めるようになったきっかけ、プロジェクトの効果と今後の計画など、プロジェクト全般の話を

聞いてみよう。

10年以上ICSでコンテンツを管理してきたMBCが、WebアクセシビリティとWeb標準を厳守・強化するためのプロジェクトを進める。

iMBCは既にオンラインサービスの体系的な管理・運用、効率の高い協業基盤の構築のため、ICSを導入して使ってきた。そして、このICSでリアルタイムでのコンテンツ配信をすることでサービスの速度面において5割以上の向上効果、サービスの安定化、コンテンツの統合や集中管理を通じた管理効率の向上、4割以上のコスト引き下げ効果など、様々な効果を経験した。

今回のプロジェクトは以前使っていたICSを活用し、老朽化したサイトのリニューアルはもちろん、障害者差別禁止法の条項に違反する要素を無くすことで、Webサイトから提供される全ての情報と機能に対して誰でも等しく、アクセスしやすい環境にするために使い勝手を向上させることが目標だった。

そこで、今回のプロジェクトにおいて、iMBC側のどんなに小さな要望でも逃さずに、正確かつ迅速に膨大な量を処理し、プロジェクトの企画意図に合った結果が得られるように積極的にサポートした。

Q 今回のプロジェクトの背景は？

MBCのWebサイト内カテゴリの一つである「MBCと共に」は

ドラマ・バラエティなどの番組を除く、MBCの関連部署のサイトを集めたコーナーとして、MBCの会社情報、採用情報、社会貢献室、アナウンス室、視聴者センター、グローバルメディアなど、およそ20余りのサイトで構成されているかなり規模の大きいスペースである。

しかし、今までこれといった変化なしで既存のサイト環境をそのまま使ってきたことにより、現在のWeb標準やトレンドの流れに追いつくことのできない老朽化したサイトが増えるようになった。さらに、Webアクセシビリティを考えてなかったことで、障害者差別禁止法の条項に違反するような要素が山積みしていた。

例えば、多様なデバイスやブラウザ環境においても、利用者がホームページの情報を自由に得られるサイトであるべきだが、既存のサイトはInternet Explorerに最適化されていて、モバイル環境を念頭に置いてない状態で制作されたため、最新トレンドの流れに取り残されていた。

また、コード上でもWeb標準に合わないタグ、テーブルなどを使用するといった様々な問題があり、ややもすれば、MBCというブランドに悪い影響を与える可能性があった。

そこで、今回のリニューアルを決断、CMSのテンプレート作業をI-ONに任せることにした。

iMBC コンテンツ企画2チームチーム長の李氏をインタビューしてその感想を聞いてみた。

Q プロジェクト推進の際、最も重視したことは

何よりも、Web標準・Webアクセシビリティ問題を解決するとともに、老朽化した各サイトのリニューアルを通じた利用者を配慮した環境提供、優れた品質のコンテンツサービスの提供に最も重点を置いて進めた。

加えて、今回のプロジェクトはMBC関連20部署の意見を集めて、企画案作り、デザインからマークアップ、開発までする必要があったため、膨大な量の業務を含めていた。その上、各業務を担うチームが分散されているため、円滑なコミュニケーションが何よりも大事だった。

そこで、「PMS(Project Management System)」というプロジェクト管理システムを導入し、スケジュール管理や作業の進捗状況などを効率的に管理＆協業しながらリニューアル作業を進めた。

Q 今回のプロジェクトにI-ONを選択した理由

プロジェクト初期には、自社独自で行う計画だった。しかし、大規模のプロジェクトが集中する時期にこのプロジェクトのCMS作業スケジュールが重なってしまい、重要度を決めることが一番難しく悩みでもあった。

そこで、アウトソーシングすることを決めた。「MBCと共に」がI-ONのICSで制作されたサイトだったため、I-ONが誰よりもシステムをよく把握している状態でもあった。

その上、昨年末に進めた「MBCニュースHP」のリニューアル(imnews.imbc.com)作業もI-ONと上手く構築したので、複数挙がった候補の中から、I-ONを選択した。

メンテナンスにおいても、常に迅速かつ正確に対応してくれた。もちろん、プロジェクト遂行中には、想定外の問題も起こり、決まったスケジュール厳守がとて厳しくなった。I-ONは、自ら残業を選択し、共に現場で一緒に協業しながら一緒に残ってくれた。その上、とても丁寧で親切に対応してくれた。その結果、問題なくプロジェクトは成功に終わった。今も感謝している。これからも良いパートナー関係を築いていきたい。



〈写真：iMBC コンテンツ企画2チーム 李氏〉

Q とても興味深い。I-ONとのプロジェクト期間中のエピソードや最も満足していることは

iMBCは安定的で情報公開が迅速な運用をするため、CMSの代表とも言われているI-ONのコンテンツ管理システムであるICSを前から使っている。

プロジェクトが長引くにつれ、予想外の問題が社内が発生し、優先順位によってCMSのコーディングをI-ONに任せることに決めた。

タイトなスケジュールのプロジェクトだったため、かなり不安を抱えた状態で助けを求めた。その結果、I-ONからは前回の「MBCニュースのリニューアル」作業の担当者を今回も

派遣、無理なく作業を終えたのでとても感謝している。

作業を完了することも大事だけど、小規模の拡張要望に対しても見逃すことなく、迅速に対応することって決して容易ではないと思う。とても心強いパートナーがいることを確認できた。

いつも、弊社の要望に迅速かつ正確に対応してくれるI-ONの技術力と仕事への情熱にとっても感心している。I-ONとのプロジェクトを決めたのは正しい選択だった。

Q プロジェクトの成果や今後の計画

当プロジェクトを通じてMBC全社のWebサイトでWeb標準とWebアクセシビリティ、障害者差別禁止法の条項を阻害する要素を解消できて嬉しい。求める情報をもっと効果的に得られる環境とともに、良質のサービスを提供できるようになり、利用者のユーザビリティが高まることが期待される。

今後サイトを企画する際には、今回の経験で培ったノウハウをもとに新たなサイト構築に適用できると思う。また、利用者を配慮しながらMBCならではのブランド価値を高めていくだろう。

最終的には、アップロードを含むメンテナンスや予想外の問題などへの対応が必要な場合は、以前と変わらぬサポートとご支援をお願いしたい。